

再提出は一週間後
 基本的に元のレポートはいじらず、訂正ページのみ別冊子にて元のレポートと一緒に提出すること。
 元のレポートにページが記入してない場合は記入し、別冊子には何ページの訂正かが明確になるよう
 に記述すること。
 このチェックシートは別冊子の1ページ目に入れること。

番号	氏名	必須事項	目的	概要	使用機器	方法	考察	問題	
		チェック欄							
課題・問題のチェック								学生 チェック	指導者チェック
課題2-1-4		スピードとモータへの値のグラフ							
問題2-1-2		誤差のグラフ							
問題1		1 RS232-Cについてハードウェア、プロトコルを含めて調べなさい。(コネクタの信号について、信号の波形)							
		2 例題のプログラムではデューティサイクルが50%の周波数を発生していますが、もしこのデューティサイクルの計算を変えたら何が起こりますか？どこをどのようにしたらどのようなようになるかを、理論的に説明しなさい。(フーリエ解析を利用する)							
		3 何故FreqoutクラスはPWMクラスから派生させたのか？ここで用いているプログラムを例に挙げて具体的に説明しなさい。							
問題2-1-1		1 PWMクラスで使うことのできるメソッドを調べ、その機能を説明しなさい。							
		2 オブジェクト変数(インスタンス変数)はどれか。							
		3 moveメソッドはどのような値でサーボを動かしているか？							
		4 ? : の意味は理解しているか。これを説明しなさい。							
問題2-1-2		スピードのグラフより誤差のグラフを求めなさい。 実際の値 - 予想値 誤差[%] = $\frac{\text{実際の値} - \text{予想値}}{\text{予想値}} \times 100\%$							
綴じ方		内容が正しく見ることが出来る(A4, 左2 or 3ヶ所)							
		各用紙に通し番号でページを記入							
		目的、方法、結果、考察の順に配置							
		実験目的、方法を簡潔に記述							
実験結果のまとめ		実験データの単位を記入							
		表の通し番号・タイトルを記入							
		図の通し番号・タイトルを記入							
		グラフに目盛り、軸の名称、単位を記入							
		測定値のグラフに近似曲線を記入							
		レポート全体の丁寧な記述							
提出期限の									
検討、考察		報告事項の記述							
		実験結果と理論の比較、検討							